

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
11 月 平均気温(℃)	8.0	8.9	8.8	6.9	6.2	5.3	7.7	7.0	中旬平年比+1.9℃（高）
11 月 降水量 (mm)	9.5	14.3	14.0	24.2	10.5	16.3	34.0	54.8	月間平年比 62%（少）
11 月 日照量 (h)	48.9	51.9	67.4	42.4	51.8	46.4	168.1	140.7	中旬平年比 159%（極多）

- 10 月特記：最高 27.1℃(10/12) 最低 1.2℃(10/30) 月間降水量平年比 52%（極少） 月間日照量平年比 73%（極少）
- 11 月特記：最高 27.0℃(11/20) 最低−3.5℃(11/15) 20℃以上 4 氷点下 15 多雨 12.5 mm(11/20) 強風 15.0m/s(11/23・北東)
- 上旬（平年比）：気温（低）−0.9℃、降水量（少）66%、日照量（並）94%
- 中旬（平年比）：気温（高）+1.9℃、降水量（少）58%、日照量（極多）159%
- 下旬（平年比）：気温（高）+0.9℃、降水量（少）64%、日照量（多）112%
- 月間（平年比）：気温（高）+0.7℃、降水量（少）62%、日照量（多）119%



2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

【生産特記 2020】
① 生産基盤（推定）：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 85ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 9ha・柿 6 ha・プラム 40 ha
② 生育経過：4 月生育遅滞 5 月少雨・干ばつ 6-7 月長梅雨 8 月酷暑 9 月上旬猛暑 10 月日照不足・低温
③ 収穫開始：名月 10/26、百年 11/5～、サンふじ 11/10～、ムーンルージュ 11/5～、なかののきらめき 11/10～
④ プラム：生産量昨対 43%。結実不良・日焼け多発等で大きな減収で終了。
⑤ サクランボ 2021：7.2℃以下低温積算 525.0h（11/27 現在・昨年比△61h）被覆予定 22 棟（昨年比△5）
⑥ も も：生産量昨対 81.4% 8 月末までの晩生種の収穫進度は平年比 7-10 日早く経過したが、極晩生は過去にない成熟遅滞で経過。面積減・結実不良・収穫前ロス多発・せん孔病被害発生等の複合的な要因で減収。
⑦ 和梨：果肉先行により収穫は昨年より 7 日程度早く経過。南水の果形良好。南水平均糖度 14%台（陽だまり率 40%超え）。全体に 8 月干ばつにより小玉率高い。
⑧ 西洋梨：果肉先行により収穫は昨年より 7 日程度早く経過。追熟は平年より早い。全体に老木化や 8 月干ばつにより小玉率過去最高。
⑨ りんご：生産量昨対つがる 100%、秋映 105%、スイート 105%、ゴールド 110%。大玉率高く、中生種の生産量は昨年を上回る。平均糖度 つがる 11%、リップ 13.5%、秋映 13.2%、スイート 14.5%、ゴールド 14.2%
⑩ りんご：ふじ・ゴールドにつる割れ多発。ふじ発生率は過去 5 年で最多。長梅雨→干ばつ→9 月降雨が影響したとみられる。
⑪ りんご：平均糖度 ホッペ 13.7%、名月 14.9%ふじ 15.3%。ふじの蜜入りは 11/20 頃で平年よりやや悪い。
⑫ りんご：10 月の日照不足・低温により成熟遅れ。11 月上旬の低温遭遇で蜜入り。平均収穫開始 11/10 頃。豊作傾向。生産量は昨対 110%を見込む。
⑬ ぶどう：生産量昨対 露地巨峰？% 露地シャイン？% 大房傾向。収穫進度は昨年より早くで終了。
⑭ 柿：収穫開始 市田柿 10/20 琥珀の華 11/2 平核無 11/10。糖度は高め。成熟は、市田は昨年よりやや早く琥珀・平核は昨年より遅い。生産量昨対 105%見込み。市田柿初出荷 11/30～。
⑮ キウイ F：収穫開始 黄色系 10/7～ ヘイワード 10/17～ 収穫期は昨年よりやや早まった。生産量は昨年並み。

【2020 病虫害対策】
① 腐らん病：5 月以降枝腐らん病発生非常に多い。梅雨期間感染拡大。秋季の発病が全域で目立つ。
② せん孔細菌病：夏型枝病斑が多く、台風による秋季感染心配される。収穫後のボルドー散布を徹底する。
③ 晩腐病：梅雨期間で感染。巨峰で発生目立った。
④ ハダニ類：りんごで 9 月上中旬の発生目立った。被害が大きい園では早期落葉・葉の機能低下目立った。
⑤ キンモンホソガ（りんご）：過去 5 年で最も多い発生量。第 1 次世代（6 月下旬）から増加、第 3 世代（8 月）で被害拡大。
⑥ カメムシ類：全体で被害多発。過去 5 年では最も多い発生量。8 月の被害は平年並み。
⑦ 炭そ病（りんご）：8 月中旬から発生。日焼け部分に併発。つがる・秋映で発生多い傾向。中生種中心に発生中。
⑧ 輪紋病（りんご）：8 月下旬からふじに早期発生。収穫前の発生の多い。ロスの一因。
⑨ すず病（りんご）：梅雨感染。お盆過ぎから被害果散見。収穫前の発生も目立つ。
⑩ 円星落葉病（柿）：発生は昨年より少ない。一部で早期落葉あり。
⑪ 黒斑病（キウイ F）：平年並みの発生。